

質問件名 ジェンダー平等を実現し誰もが幸せな社会を

【質問要旨】

国連のSDGs（エス・ディー・ジーズ）持続可能な開発目標の5番目に「ジェンダー平等を実現しよう」（外務省訳）があります。誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のために必要な国際目標であるSDGsは、2015年の国連サミットで日本を含む全会一致で採択されたものです。

それに先立ち政府は、女性活躍のかけ声のもと男女共同参画社会の実現に向け、2020年までに指導的地位に女性が占める割合を30%、男性の育児休暇取得13%などの目標を立てています。今年の5月には政治分野における男女共同参画の推進に関する法律が施行されましたが、いっぽうで官僚や首長によるセクシャルハラスメント、大学入試での女性差別なども発覚し、ジェンダー平等における課題は残されたままです。

生活者ネットワークでは、このような状況について足元から見つめていくために、東京の自治体での男女平等参画施策に関する調査を実施しました。小平市は都内の市・区でのトップグループに入る結果となりました。また、東京に暮らす女性たち約100人にインタビュー調査を行い課題抽出と政策提案も行いました。ジェンダーの視点から見えてくる家事と育児・介護、雇用における賃金格差の問題を解決することは、女性だけでなく男性も暮らしやすい社会であることが見えてきました。だからこそそのSDGsの目標項目であるとあらためて思います。

小平市が自治体調査の順位に見合う充実した施策を推しすすめ、女性も男性も暮らしやすい地域社会を率先してつくっていくことを求め、以下の質問をします。

- ① イクボス宣言後の具体的な取り組みと効果をお示してください。
- ② 女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画による効果と進捗状況における課題をお示してください。
- ③ 小平市セクシャル・ハラスメントに関する苦情相談及び苦情相談処理委員会設置要綱について、相談窓口や委員会に女性の位置付けを担保することや第三者による調査の追加など、改定を検討すべきと考えますが見解をお示してください。
- ④ ドメスティック・バイオレンスや性暴力被害の防止策について、改善策と課題をお示してください。
- ⑤ LGBTへの理解について継続している取り組みをお示してください。
- ⑥ 今後のジェンダー平等推進のためには、市民協働・男女協働推進課だけでなく職員課、子育て支援課、高齢者支援課、健康推進課のほか教育委員会など庁内連携と総合的推進の視点が必須ですが、施策推進のための課題があればお示してください。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2018年11月15日 小平市議会議長 殿

小平市議会議員 氏名 日向 美砂子

受付番号【 】

26	25	24	23

— (/)